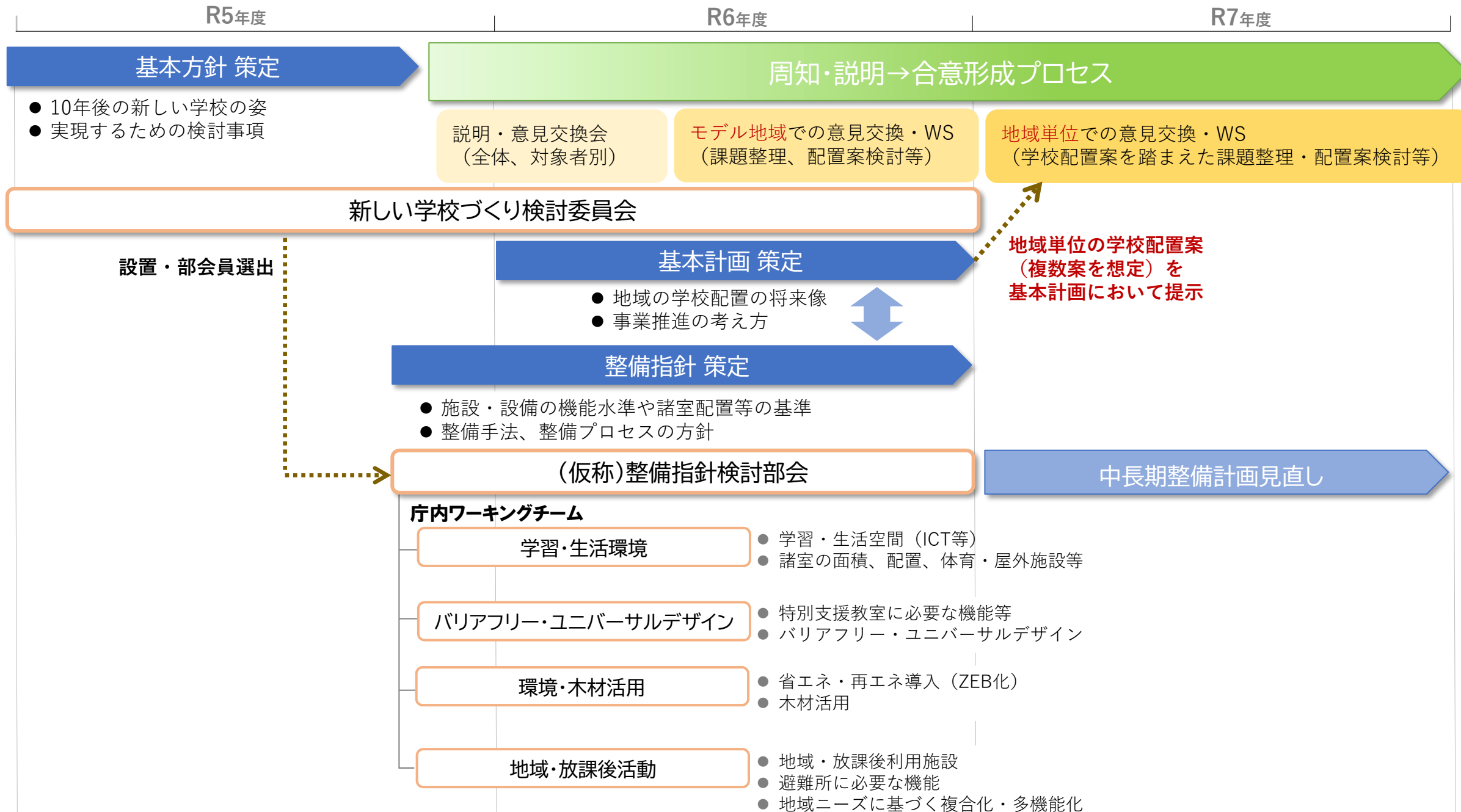


## 今後の検討フレーム等について

# 新しい学校づくり推進事業 今後の検討フレーム(案)



## 基本計画・整備指針について

	新しい学校づくり推進基本計画	新しい学校づくり施設整備指針
概要	地域の学校配置の将来像 (どこにどのような学校をつくるか)	「新しい学校」(ハード)の基準・指針 (どのような建物をつくるか)
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域単位の配置計画</li> <li>・他の施設との複合化の考え方</li> <li>・合意形成の手法やプロセス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の機能水準</li> <li>・諸室の種類、数、面積、仕様等の基準</li> <li>・整備の前段での利用者意見反映の手法やプロセス</li> </ul>
検討体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>検討委員会を主体とする</u></li> <li>・全市的な整理が必要な論点については、地域単位の検討の前段で検討・整理を行う。</li> <li>・地域単位の配置計画は、検討段階から地域への意見聴取やワークショップを行い、地域の意見を反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>(仮称)整備指針検討部会を主体とする。</u></li> <li>・具体的な内容については、テーマ別のワーキングチームを庁内関係課を中心に設置して検討する。</li> </ul>
検討スケジュール	R6.4～ 整理が必要な主な論点について検討 R6.6～ 地域単位の配置計画について検討	～R6.5 庁内ワーキングを主体とした検討 ～R6.7 整備指針(素案)の検討
策定に当たり整理が必要な主な論点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援教育の充実に向けた方策(一部拠点化や通級指導教室の拡大等)</li> <li>・小中学校に災害時の避難所機能をどこまで持たせるのか</li> <li>・望ましい学びの規模と前提となる学校配置等の考え方</li> <li>・小中一貫校(義務教育学校)導入などの方向性</li> <li>・小規模特認校の今後の方向性</li> <li>・その他学校制度(分校制度、広域連携など)や学校選択制の導入可能性</li> <li>・望ましい合意形成プロセスと具体的な手法</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な子供たちが共に学び、生活するということを前提とした環境を実現するための学校施設整備の具体的な方向性(バリアフリー・ユニバーサルデザインなど)</li> <li>・体験学習や探究的な活動、ICT活用等多様な学習スタイルに対応できる学習空間のあり方</li> <li>・学校と地域との協働や共創を促す空間づくり</li> <li>・避難所として必要となる具体的機能</li> <li>・複合化した場合のセキュリティ確保等の方策</li> <li>・学校施設の管理運営のあり方</li> <li>・環境に配慮した施設づくり(省エネなど)</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>